

KG JOURNAL

関西学院通信 [関学ジャーナル]

特集

Special

世界市民を育む、学びがある。

魅せます! 理工学部の本気

2016.7.1
252号

数字でみる関学

新トレーニングセンターのトレーニング機器数

突撃! KG CLUB

関西学院交響楽団



学長の ポケット レポート

The Twofold Task (二重の任務)

関西学院を創立されたランバス先生は、晩年にMedical Mission: The Twofold Taskという重要な本を書かれました。本年2月に、山内一郎元院長、神田健次神学部教授の監修で関学出版会から本訳が出版されています。Medical MissionとThe Twofold Taskに対しては、それぞれ「医療宣教」と「二重の任務」の訳が当てられています。

ランバス先生はこの本の中で、医療と伝道という二重の任務(The Twofold Task)を追求されています。第一に、医療の専門家として病の治療に専念することが求められ、第二には基督教の福音を提示するという宣教の任務です。ランバス先生は、このための準備として「言語を修得すること」「現地の人の物の見方を学ぶこと」などを挙げておられます。本学がめざす、言語能力の育成やグローバル人材の資質の一つである「多様性への理解」に通じるものがあります。

いま、関西学院大学では、スーパーグローバル大学創成支援事業の構想「グローバル・アカデミック・ポート」のなかで、ダブルチャレンジ制度を推進しています。学生は、入学した学部での学びの他に、副専攻プログラム、ハンズオンラーニング・プログラム、インターナショナル・プログラムのいずれかにチャレンジするという制度です。

この背景には、独創性やイノベーションは異なった領域の知識や知恵が結合するときにしか生まれないという考え方があります。アイザック・アシモフも言っていますように、異なった分野の出会いや融合こそが、イノベーションや創造性を生み出す源泉であると考えます。現在、理工学部と総合政策学部で構成されているKSC戦略本部の「神戸三田キャンパスにおける将来構想」の基本にも、「世界と競う文理シナジーキャンパスの創設」が謳われています。異なった分野に取り組みというThe Twofold Taskこそが、これからの社会の変革やイノベーションにとって必要不可欠であると考えます。(学長・村田 治)

表紙へ

(足達 一馬さん
社会学部1年生)



6月にベトナムのホーチミンで開催された「第17回アジアジュニア陸上競技選手権大会」の走り幅跳び日本代表に選ばれ、7.73mの跳躍で3位入賞した。

「日本と違う環境での大会は難しい」と言うように、今大会では日本で感じる以上

の「暑さ」への対策に気を配った。ベトナムに到着してからの3日間の練習は、暑さで体調を崩さないように氷のうで首筋などを冷やしながらい、コンディションを整えて本番に臨んだ。

走り幅跳びは、6本の跳躍を行い、そのうち一番良い記録を競う。「調子は良かった」と話すところ、2本目で自己ベストに3センチと迫る7.72mの跳躍を見た。しかし、直後、予想外のスコールに見舞われた。30分ほどテントの中に缶詰め状態となり、続く

3本の跳躍では体が動かなくなってしまうリズムを崩した。「なんとか立て直すことに集中した」と6本目で2本目を上回る7.73mを記録した。「納得はしていないが、一度崩れた後に立て直せたことは次につながる」と話す。

中学1年生から始めた陸上競技。走り幅跳び一筋でやってきた。「まずは7月にあるU20の世界選手権大会に出場したい。そして大学4年間のうちに日本選手権に出場して表彰台に上るのが目標」と先を見据えている。

KG JOURNAL

関西学院通信 [関学ジャーナル]

CONTENTS

No. 252

- 1 学長のポケット
表紙人
- 2 特集
世界市民を育む、学びがある。
魅せます！理工学部の本気
- 9 就職の窓
まだまだ届く企業からの求人
4年生&M2年生向け
今後の就職活動サポート！
シューカツに勝つ
- 11 ひととひと
- 13 Research & Research
教育学部 菅原 伸康ゼミ
理工学部 藤 博幸研究室
- 15 突撃！KG CLUB
関西学院交響楽団
- 17 My favorite KG
アルフォンソ エーベル アレクサンダーさん
(米国)
Go Global!
山本 春さん(国際学部4年生)
- 18 数字でみる関学
新トレーニングセンターの
トレーニング機器数
- 19 Campus News
関学カプセル
学院通信
- 23 私に言わせて！
人工知能のAIがもたらす未来
- 24 世界の街角から
インド 松井 雪奈さん
- 25 Libraring
「第17回J.C.C.Newton賞」作品募集！
- 26 聖書に聞く
法学部宗教主事 大宮 有博

理学系

数理学科

コンピューターを駆使し、理論研究から応用研究まで現代社会の幅広い分野の課題を解決する研究を推進する。

工学系

先進エネルギー ナノ工学科

日本の産業における強みの一つ、先端ナノテクノロジーを駆使して持続可能な高効率エネルギー社会の実現に寄与する研究を行う。

理学系

物理学科

宇宙や生体分子など幅広い対象について、理学的視点から原理を追究する研究をはじめ、応用に結びつく研究を行う。

工学系

環境・応用化学科

環境負担が少ない物質の合成や自然界の現象を応用した技術、物質循環の調査・研究などを通して地球と人にやさしい社会に貢献する研究を目指す。

理学系

化学科

分析化学・物理化学・無機化学・有機化学の4分野から化学の最先端の知識と技術を身につけた人類の未来に貢献する人材を育成する。

工学系

情報科学科

基礎から先端科学・技術まで幅広く学ぶ。情報の本質の探究を通じて、現実社会の課題に応用できる新たな情報技術を創造する力を養う。

工学系

人間システム工学科

人間を中心として工学を捉える新学問領域。人間の特性や感性を深く理解し、人間とシステムの豊かな関係を創造する力を育む。

理学系

生命医化学科

生命科学の切り口で基礎医学研究を深化させ、分子レベルからヒトの健康や病気予防・治療などの分野で先端医学に貢献する新技術の創製に挑む。

理学系

生命科学科

生命現象の基本原理を実験によって検証。分子レベルから生命の本質や進化、多様性の獲得の謎に迫り、それらのメカニズムを解明する。

特集 Special 魅せます! 理工学部の本気

関西学院大学唯一の理系学部である理工学部。

理系だからこそできる“Mastery for Service”の体現に向けて日々挑戦しています。

2015年、理工学部は新たに3学科が加わり9学科になりました。

新体制となった理工学部で、学生たちはどのように学び、成長しているのでしょうか。

新生・理工学部の魅力に迫ります!

加藤 理工学部は基礎系からスタートし徐々に応用系を入れながら発展、昨年度にはグリーン・イノベーションとライフィノベーションで社会に貢献する3学科を新設しました。これらの背景には、関学のスクールモットーである“Mastery for Service”をサイエンスの面から実践していくこと、関学が総合大学としてさらに発展していくためには理系の充実が不可欠であることの二つがあります。まず、皆さんが関学理工学部や各学科を選んだ理由を教えてください。御手洗さんは新設の環境・応用化学科ですね。

御手洗 化学が好きだったということと、高校が文部科学省のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)指定校で、ある発表会に参加した時に環境問題に関するビデオを見て環境に携わる仕事をしたいと思いました。水質汚染などに化学物質が関わっていることから、この学科にしました。

武内 私は関西学院高等部の出身で、高校のころから

アプリを作るプログラミングソフトを触ったりして楽しいなと思っていました。大学でもプログラムを使って何かをしたいと思い、ロボット関係も視野に入れて現学科を選択しました。

正垣 私は部活を引退して燃え尽き症候群になり、自分は何のために生まれ、生きているのだろうかという疑問を抱き、それについて知りたいたいという思いが芽生えました。そのころ、担任の先生に借りた宇宙物理学の本に「宇宙について知ること、そこに生きている私たち人間を知ること」という意味の一文があり、宇宙について勉強すれば自分のことが分かるんじゃないかと思ったのがきっかけです。

ホールとの関係性について調べています。JAXA(宇宙

幅広く学び 大学院で深める

加藤 現在の研究内容や勉強していることを聞かせてください。楽しいですか。

正垣 卒業研究を進展させ、銀河の成長過程とブラック

座談会

学ぶ楽しさ つながる喜び 理工学部で夢を紡ぐ

理工学部の前身は、1961年に2学科で発足した理学部です。2000年代に入ると理工学部に変更して学科数を増やし、昨年度には応用系3学科を開設しました。活力と刺激に満ちた毎日を送る学生・院生3人に、学びや研究の内容、キャンパスライフや将来の夢などについて加藤知・学部長を囲んで語り合ってもらいました。



学部長
加藤 知

研究分野/生物物理、脂質膜、皮膚角層
名古屋大学理学部物理学科卒業、同大学院理学研究科博士課程単位取得満期退学。理学博士。関西学院大学理学部助教授を経て、1998年に教授。2012年から理工学部長。

Satoru Kato

航空研究開発機構)のデータを使わせていただき、それを解析するので、自分が思い描く研究が進めば楽しいだろうなという展望もありつつ、形にできなかった時の責任を考えると今は不安の方が大きいですね。

御手洗 化学を中心に、それも昨年に比べいろいろな分野に分かれ深く学んでいます。有機化学など、高校生や1年生の時と違ってすごく難しくなってきたり、ちゃんと勉強しないといけないなと思っています。まだ先ですが、研究としては環境分析系に進みたいです。

加藤 化学も物理も長い伝統がある学問で、それを2、3年で詰め込んで分らないことはたくさんあります。私もそうでした。でも難しいと思ったことはある程度その分野を勉強した証拠です。あきらめず勉強

し続けられれば、小さな積み重ねでだんだんと分かってくるものです。

武内 今、習っているのは画像情報処理です。カメラに写ったものから人だけを抽出する、例えばスマホを置き、それを人が触るようなしぐさをしたらカメラで写しアームが鳴るといのように、カメラの領域抽出みたいなことをやっています。

御手洗 私は今、大学院に行くためにお金をためているところです。正垣さんは、なぜ大学院に入られたのですか。大学院では一日中研究ですか。

正垣 4年生の時、私がやりたかった天文学の専門の先生が物理学科に来られ、もっと勉強したいと院に進みました。1年生の間は授業もゼミもあり、T・A(Teaching Assistant)教(学補佐)もやっているの、空いた時間を研究などに使う感じです。学部は大局的に幅広く学ぶ面白さがあり、大学院には狭い範囲を学ぶからこそ面白さがあります。本当に学びたいのであれ

くば大学院に行く方がいいと思います。

加藤 深く掘っていくのが大学院です。根を深くすると木が大きく成長するように、一度底まで深めていくことが将来の大きな発展につながっていくのだらうと思います。専門職大学院を除けば、関学の大学院生の40%が理工学部の院生です。それほど理系にとって大学院は重要なものであり、さらに教育を充実させていきたいと思っています。

理工学部は現在9学科になり、一学年700人が学んでいます。昨年3学科増えたことで何か変化はあります。か。

若い先生が増え 新しい研究が刺激に

武内 新しい先生と話すたびに、新しい研究をされているんだなと気づかされます。学生数が増えたことで、理工学部全体が明るくなったイメージもありますね。礼拝のお手伝いをしていて、讃美歌の声が例年より大きいように感じました。

正垣 先進エネルギーナノ工学科の授業では、先生方が自分の研究分野を講義してくれます。環境問題を解決したいという熱い思いなどを聞くと、社会に貢献したいという気持ちが刺激されるし、研究以外にも人間として向き合えないといけないことに気づかされ、とてもいい機会になっています。物理学科とはまた違って新鮮です。

加藤 9学科になって教員数は約1.5倍になり、特に若い先生が増えました。若い人が入ってくると研究内容が随分変わるし、「勉強会をやるう」という雰囲気にもなります。かなり大きな変化が起こっていることは確かですね。

正垣 物理学科には昨年初めて女性の先生が来られ、女性ってパワフルだなとあらためて感じさせられました。働く女性のお手本となる人物が身近にできたことで、自分も頑張らないといけないなと思えます。

加藤 理工学部では男女共同参画宣言をしており、



環境・応用化学科2年生

御手洗 麻柚さん
Mayu Mitarai

情報科学の研究室の雰囲気を感じ、先輩たちと交流する機会もあります。

武内 はい。朝9時前から

く2020年にはいずれの学科にも一人は女性教員を採用しようという教授会で約束しています。

武内 オープンキャンパスでは高校生や保護者の方から「化学科と生命医化学科、物理学科と先進エネルギーナノ工学科の違いは何ですか」というような質問がたくさんありました。選択肢が増えたのはいいことなので、それぞれの学科の特徴をより具体的にすれば高校生たちにも分かりやすいと思います。

学部生と院生の 強いつながりが特長

加藤 それはわれわれが解決すべき課題ですね。先輩後輩のつながりや研究室相互の交流はどうですか。

武内 私が参加しているプロジェクトコンペティションの

担当は情報科学科の先生で、そこに行く情報科学の研究室の雰囲気を感じ、先輩たちと交流する機会もあります。

御手洗 理工学部は担任制で教授との距離が近いので、研究室にも質問に行きやすいです。ほかに、授業のL・Aさんと仲良くなったたり、体育の授業で一緒だった4年生の研究室を訪ねたりと、いろいろな機会に交流させていただいています。

正垣 JAXAから来ている研究員の方からよく、「T・Aをはじめ、実験や授業で学部生と院生とのつながりが強いのが関学の良さだね」という褒め言葉を頂きます。アカデミックコミュニケーションにはクレセントチューターもいますし、研究室に関係なく頼れる先輩ができるのはすごくいいことですね。

理工学部は実験もあつて横のつながりが強い、加えて縦のつながりも強いという環境だと思っています。

加藤 クレセントチューターをはじめ学部独自の先進的な取り組みが多く、アクティブラーニングの成功事例の一つとして、全国から見学に來られます。アカデミックコモンズは活用していますか。

夜10時まで開いているのはすごく魅力的で、友達と開まる間際まで勉強したりしています。

正垣 図書館では限界があったことを、アカデミックコモンズで実現できるようになったというのが大きいですね。図書館は総合政策学部生もいるので席がなかったり、しゃべることに制限がかかるので誰かと一緒に何かをするという場にはじいしくかたりしたのですが、ここだと気軽にふらっと来てできるというのがいいんじゃないかと思っています。

御手洗 私は図書館もよく使います。パソコンが完備されているので持参する必要がなく、助かっています。
武内 実験装置も充実していますよね。キネクトやモーションキャプチャーなどいろいろあって、実際に使わせてもらいましたがすごかったです。

正垣 物理の金子研究室には日本ではここにしかない装置があり、特化した研究ができます。それだけでも関学理工学部に来る価値

があると思います。

初の学生団体 理工学部の懸け橋に

加藤 他大学と比べても遜色のない、最先端の研究のための機器類がそろっています。ただ、装置を使う人が大事で、装置に使われてはいけません。使いこなさないといけない。では、大学生活全般について伺います。武内さんは「Sci-Tech Main Tuss (以下、Mains)」で活動されていますが、具体的な取り組み内容を教えてください。

武内 Mainsは理工学部初の学生団体として、学部の活性化を目的に2012年7月に発足しました。参加した団体や研究室の懸け橋になるという理念でソフトボール大会などのイベントを開催したり、オープンキャンパスでキャンパスツアーなどを実施したりしています。一つのイベントの参加者は多くても20人程度ですが、小規模な企画をたくさん実施して自分が興味のあるものにとどんどん参加してもらおうという形でやっています。



人間システム工学科3年生
武内 俊樹さん
Toshiki Takeuchi

加藤 学生自身が企画し、学生を巻き込んで行うというのがすごくいいですね。Mainsができた経緯も、学生の側から学生の団体をつくりたいと言ってきた、じゃあ公認して支援しましょうということになりました。これからもどんどん発展させてほしいですし、こちらもサポートを続けたいと思っています。

一番の活性化は 人が育っていくこと

御手洗 以前、コーヒーアワーに参加したのですが、周りは総合政策学部の学生ばかりでした。大学院の留学生の歓迎会を手伝った時も、理工学部は国際交流が活発じゃないなと感じました。理工学部とはいえ、ネイティブの先生方による英語の授業は質が高いですし、しかも英語の関学といわれている大学なので、国際交流がもっと盛んになればいいな、というか盛んにしていきたいなと思っています。

正垣 同感です。留学生との交流会とか語学勉強会があっても大体は西宮上ヶ原キャンパスで、なかなか参加できません。国際修士プログラム(詳細は8ページ)には結構な数の留学生がいるので、神戸三田キャンパスでも交流したり、助け合ったりできればいいなと思います。

加藤 実用英語とはいえ、ネイティブの人がたくさんいる、恵まれた環境を活用しない手はありません。学生の側から手を挙げて、こんなことをやりたいと言っていけば道は開けます。大学というところは口を開けて待っていても何も起こりませんので、自分から積極的に動いてください。また、総合政策学部とも密な関係を築いてほしいと思います。異分野の人とつきあうと違う発想に出合えますので、いろんな人につきあうのは本当に大事なことです。

武内 ハロウィーンパーティーなどいいかもしれませんね。Mainsでも、学部がどういう状態になれば活性化したことになるのかを議論

↳しているのですが、学部長はどのようにお考えですか。

加藤 活性化とは、人が育っていくことではないでしょうか。みんながモチベーションを保ってどんどん自主的にやっていく、まさにアクティブラーニングだと思います。自主的に動ける人たちが増えてくるというのが、活性化の一番大きなことだと思います。理工学部では、そういう人材を育てていきたいと考えています。

「金持ちより人持ち」 人との出会いで気づき

加藤 最後に、理工学部で学んだこと、また将来の夢を教えてください。

武内 Mainzやプロジェクトシヨンマッピングで大勢の先輩、同期、後輩とたくさん交流し、そこからの刺激や学びがかなり大きいと思います。プロジェクトや企画では失敗もありますが、それが自分の成長につながっているんじゃないかなと思います。

将来は教職に就いて、生徒と一緒にプログラムを作ったりプロジェクトに取り組んだり

りしながら、共に成長していきたいような生き方を目指しています。

御手洗 高校の先生に「金持ちより人持ちになれ」と言われたのですが、その通りで本当に人とのつながりが大切だなと思いました。サークルとかに入らない場合でも教授に質問に行つてそこで親しくなれたり、院生の方たちと仲良くさせていたいたい、自分から動けば何でもできるんだと思いました。

加藤 大学の機能の一つは人脈づくりです。大学でできた関係は社会に出てからもつながってきますから、人脈をどのようにつくるかというのは非常に重要なことですね。それによって自分の行く方向がかなり変わってくると思います。

御手洗 夢は環境問題に携われるような仕事に就きたいという漠然としたものですが、その前に、大学在学中にドイツなど理系の技術が進んでいる国への留学を考えています。そこで交流したいし、海外の文化なども学びたいと思っています。

↓



理工学研究科
物理学専攻M1年生
正垣 綾乃さん
Ayano Shogaki

将来は研究職に就けたらいいなと思つていましたが、卒業研究でのポスター発表などを

通して、人に自分の研究を伝えることの難しさや伝わった時の喜びなどにやりがいみたいなものを感じたことから、誰かが生み出す何かを伝える、人と人、人とのをつなぐようなことができたらなと、今は漠然と思つています。それが研究機関での広報的な活動なのか、一般企業での職なのか分かりませんが。

加藤 今、関学はスーパーグローバル大学創成支援（SGU）事業採択校として、多彩な国際プログラムを展開しています。理工学部でも、バリ島での臨海実習や台湾での地学実験など現地の大学と協定を結んでの取り組みに学生を派遣したり、逆に外国人学生を迎え入れたりしています（詳細は7ページ）。これからもどんどんプログラムを打ち出すつもりですので、躊躇せず手を挙げてください。

正垣 私は、これまでの自分の価値観とか社会観がどれだけ狭かったかというのを大学に入つてあらためて感じました。授業での学びやいろいろな人との出会いの中で、世の中にはまだまだ知らないことがあり、だからこそ追求したいことがあることがたくさんあるんだと気づくことができました。

加藤 サイエンスライターなどどうでしょうか。後輩の女性たちに、サイエンスって面白いよということを伝えるような仕事をやっていただけると私としては非常にうれしいです。

チャレンジ /

海外への学生派遣、留学生受け入れ、
高校生との交流など多彩な事業を展開しています。

学生を海外へ送り出す

海外での実験プログラム

SGUインターナショナルプログラムの一環として、海外で学ぶことができる機会を積極的に提供しています。

その一つが今年3月、7泊9日の日程でインドネシア・バリ島のウダヤナ大学で開かれた生命科学科開講科目「バリ臨海実験」です。学生は海洋生物についての講義を受け、2日目から4日目まではナマズとウニの人工授精を観察し胚発生の過程を学びました。5日目から7日目は海底観察や生息生物の採取と観察、珊瑚礁と南海生物の観察と分類を行い、その後、珊瑚礁保全に関する講義で生物の多様性獲得と環境保全の重要性について学習。また、現地大学生と交流を深め、最終日は島内の歴史・文化施設を見学して異文化理解を深めました。

同じく3月に台湾でフィールドトリップを開催し、16人の学生が参加。さまざまな場所でのフィールドワークのほか、互いに地震の被災経験を持つ国として台湾師範大学の学生とその特有の地形や自然災害について学びました。

今年9月には、南方海域特有の珊瑚礁や海洋生物をシュノーケリングやダイビングで観察するプログラムがインドネシアのディボネゴロ大学で開かれます。



1 シュノーケリングで珊瑚礁を観察 3 台湾でのフィールドワーク
2 インドネシア「バリ臨海実験」現地での実験の様子
4

学生を三田で鍛える

英語教育プログラム

専攻分野別に少人数で週3回、理系のためにデザインしたオリジナルの教材を用いて学ぶ英語教育システムを採用。高度な学術論文を読んだり、国際学会で発表したりするために必要な英語力を習得する環境が整っています。

7日間の集中演習で開かれる授業「科学技術英語実習」(単位数:2単位、履修基準年度:3年生)は、千刈キャンプで英語漬けの合宿を行い英語運用能力の大幅な向上を図ります。グループで一つのプロジェクトを成し遂げる力、IT関係の機器を駆使して自ら編集・アップロードできる力を養うことも目的としています。7~9人のグループごとにネイティブの教員が指導。プロジェクトは教員によってピックが異なり、最終日の発表を目指します。外での撮影や劇の練習、ポスター作成など、座学だけでなく実践的な学びを体験できるプログラムです。

- 1 英語でポスター発表
- 2 合宿中のキャンプファイア
- 3 合宿はそりいのTシャツで臨みました!



学生を海外から迎え入れる

さくらサイエンスプラン

アジアの青少年に日本人学生との科学・文化交流を通じて、兵庫県の最先端科学技術・教育・文化に対する理解を深めてもらうことを目的とした計画が昨年、日本科学技術振興機構(JST)の企画する「日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)」に採択。台湾とインドネシア、ベトナムの大学から現地学生が招かれ、関西学院大学の施設で実験などを体験しました。

ガイド役や実験のサポート役を務める理工学部学生とともに、世界一の大型放射光施設SPring-8を見学し、理工学部教員による特別講義を受講。その他にも、関学大と共同研究を行っている白鶴酒造(株)や住友電工大阪製作所(株)を訪問するなどして、先端科学技術を学びました。

今回参加したインドネシアからの招へい学生は「日本に来るのは初めてでしたが、本当に驚く体験ばかりでした。インドネシアを今後、日本のような科学技術の優れた国にしたいと思います」と話しました。

- 1 理工学部学生と共に遺伝子診断の実験に参加
- 2 修了式の様子。招へい学生は現地の民族衣装で参加しました
- 3 首エネデバイスについて車を例に挙げて学びました



学業に サークルに 充実の毎日

5年前、インドネシアの高校を卒業した後、日本に来ました。もともと医学部で学びたいと思っていて、父が日本人ということもあり、インドネシアにはない技術が学べる日本に興味を持ちました。

授業や実験はどれもすごく興味深く面白いのですが、がん細胞の仕組みを調べる実験や再生医療の講義に特に興味があります。正常な細胞がどのような経緯でがん細胞になるのか。その仕組みが分かれば、がん医療はさらに進歩し、がんへの対処もより良くなっていくと思います。また、iPS細胞などの再生医療はインドネシアではなかなか学べないので、ここでしっかりと学んで帰りたいです。将来、インドネシアの医療研究に対する意識を高めるきっかけに私になれたらいいなと思っています。

理工学部の先生はとても気さくで話やすく、留学生の私にはとてもありがたく思います。特に日本に来て間もないころは、授業で分からないことがあったらどうしようと不安でしたが、質問に行くときの先生も丁寧に教えてくださりとても助かりました。

学業以外では、Sandian Brassという吹奏楽サークルに所属し、副代表をしています。サークルでは多くの日本人学生と交流できますし、三田市内の小学校での交流会や、三田祭への参加はすごく良い経験になっています。また、「さくらサイエンスプラン」で

は、外国の招へい学生のガイド役も務めました。学業、サークル、留学生や日本学生との交流など、毎日が充実しています。

ターシャ
オクタビアニ
オバタ プトリさん

インドネシア出身
理工学部3年生
生命科学科
生命医化学専攻

大学・大学院生・研究者と高校生が交流

SCI-TECH RESEARCH FORUM

昨年11月、研究成果を社会へ還元する活動の一環として、高校生と大学・大学院生および研究者が研究発表を通じて知的交流を図る「SCI-TECH RESEARCH FORUM」を実施しました。兵庫県や大阪府などの計12校から64人の高校生が参加し、大学・大学院生と互いに、自分たちの研究についてポスターセッション式の発表を行いました。高校生にとっては大学・大学院での研究を間近で感じることのできる貴重な機会となりました。

参加した高校生からは「自分たちの研究の問題点が分かったので、今後の研究に生かしたい」との感想が寄せられ、理工学部の教員からは「研究内容も発表のスキルもハイレベルだった」という声が聞かれました。

同日に開催された「Sci-Tech English Café」では、理工学部教員による英語での講演やディスカッションが行われ、単なる英会話ではなく、グローバルな科学技術の雰囲気を経験する機会となりました。今年からは、昨年よりもさらに多くの高校から参加者を募る方針です。詳細については理工学部ホームページなどで告知される予定です。



① English Caféでの様子 ②ロボットも登場！
③高校生もポスター発表をしました

英語で学び修士学位を取得

国際修士プログラム

理工学研究科には、英語で修士学位を取得することができる「国際修士プログラム」があります。ここでは、全ての研究活動、講義が英語で行われ、高度な専門知識とグローバルな視点を養うことができます。

「生命環境化学」「物質化学」「環境化学」の分野から研究テーマを決定し、物理学専攻、化学専攻、生命科学専攻のいずれかの研究室に所属して最先端の研究に取り組みます。現在、インドネシア、タイ、ドイツ、サウジアラビア等からの学生が在籍しています。

日本が誇る最先端の研究に、言語の障壁なく取り組めることがこのプログラムの大きな魅力であり、同じ研究室に所属する日本人学生も、文化の異なる留学生と共に研究する中で大いに刺激を受けています。留学生たちは日系企業への就職や、母国の科学技術の発展に貢献することを目標にしているようで、博士課程後期課程に進み、博士学位を取得する学生も少なくありません。



①②研究活動の様子 ③普段の生活でもアカデミックコモンズを有効活用しています

関西学院大学に届く求人票

例年、「関学生を採用したい」という企業からの求人票が大学へ年間を通じて約1万件届いています。教学Webサービス内「キャリア」タブの「KGキャリアナビ」で検索できます。昨年に続き、企業の採用意欲は高く、現在も例年以上に優良企業からの求人が多数到着しています。企業の採用活動は卒業前の3月まで続きます。実際にこの時期に諦めず頑張った多くの先輩たちが卒業までに内定を得ています。夏以降も諦めずに就職活動を進めていきましょう。

先輩活動体験記

「KGキャリアナビ」では、先輩の就職活動の体験記を公開しています。「企業を探す」から企業名を検索し、「先輩活動体験記」のタブより確認してください。

個人面談

面談日7日前からの事前予約制で1回40分間、経験豊富なキャリアアドバイザーが1対1で相談に応じます。就職活動状況の見直しや面接トレーニング、エントリーシートの相談など、さまざまな内容に柔軟に対応します。

学内企業説明会

大阪梅田キャンパスで開催中です。まだまだエントリーを受け付けている企業はたくさんあります。新たな企業と出会う機会にしてください。参加企業の詳細は、教学Webサービス(キャリアからの「お知らせ」、もしくは「イベント情報」)に、順次掲載します。



就活なんでも相談

7月5日(水)に大阪梅田キャンパスで開催します。就職活動に関する悩みや不安を気軽に相談してください。事前予約は不要です。



就職活動応援セミナー

求人探し方、自分に合った企業の見つけ方など、今後の就職活動のポイントを分かりやすく解説します。(7月下旬に開催予定)

困ったときは…

就職活動ハンドブックを見ましょう。キャリアセンターが面談で伝えてきたこと、採用担当者との情報交換で得られたことなど、さまざまな情報を振り返ることができます。

まだまだ届く企業からの求人
4年生&M2年生向け今後の就職活動サポート!
 現在も、4年生を対象とした求人が多数届いています。第一志望の企業から内定を得ることができず就職活動への意欲が停滞しがちな時期ですが、これを機にどのような仕事かをあらかじめ問い直し、自分の特徴や強みを生かす企業や自分の夢を実現できる企業を探してみましょう。キャリアセンターも積極的に活用してください。

2016年3月卒業・修了生の就職率

関西学院大学の2015年度の就職率は98.5%(全国平均97.3%)。また内定企業への満足度も95.0%と、高い数値となりました。

シューカツに勝つ 先輩の就職活動



株式会社キーエンス
表具 明宏さん
(2013年経済学部卒)

私は現在、センサを使って工場の自動化を提案するコンサルティング営業に従事しています。仕事を始めてからちょうど3年経ちます。自分の知識とセンスを駆使した提案で奮闘する毎日は飽きることがなく非常に刺激的です。

今回は就職活動に挑む後輩の皆さんに自分の経験を通してアドバイスできればと思います。といっても大体の事は就活本や説明会で述べられていると思いますので簡単に。

就職活動の“ゴール”をどこに置いていますか？

人によってさまざまな意見が出ると思います。良い会社に就職すること。何でもいいので1つ内定を得ること。全部間違っていないです。ですが、もっと根源的なところを押さえておかないと社会に出てから苦しむことになります。ではその根源的なところとは何でしょうか？

“自分は何がしたいかを考え、納得した答えを手に入れること”

就職活動が始まったら嫌でも説明会、エントリーシート、採用面接という流れになります。「周りがしているから自分も…」は楽ですが、それは活動でなく作業です。常に自問自答してください。自分は何がしたいのか？納得した答えにつながっているのか？そうやって次のステップに進む道を努力して模索するのが本当の意味での就職活動であり、それを実現し、自分が納得した社会人としてのスタート地点に立てたかどうか、就職活動としてのゴールだと感じます。

就職活動は今まで見えなかったものや経験してなかったことをたくさん感じ取れる貴重な時期です。正解も不正解もありません。全ての悩みや葛藤や努力が糧となり働く上での芯を形成していきます。その環境を思いっきり楽しんで自分の思った道を切り開いていってください。皆さんとどこかの仕事で一緒にできることを楽しみにしながら、就職活動の成功を祈っています！

筆記試験対策ツールを 活用しよう

筆記試験は対策をすれば確実にスコアが上がります。今から準備に励みましょう。

SMART SPI

就職活動で課されることの多い筆記試験を本番ながらの環境で受検することができます。KGキャリアナビより「筆記試験対策をする」からアクセスしてください。関学生は利用料が無料です。

筆記試験フォローアップセミナー

確実に高得点を取るために、筆記試験の仕組みと解答方法を丁寧に説明します。西宮上ヶ原キャンパス、神戸三田キャンパスともに10月から開始します。受講料は500円(7回分)、各キャンパス大学生協で事前申し込みが必要です。

※スケジュール詳細は、第1回キャリアガイダンス配付資料を確認してください。

社会人の話を聞こう ～先輩名簿の活用～

7月1日◎から先輩名簿の閲覧を開始しています。先輩方から仕事内容ややりがい、職場の雰囲気など、いろいろと聞いてみましょう。閲覧希望者は各キャンパスのキャリアセンターで「学生証」を提示してください。先輩訪問の電話のかけ方やマナーについては、就職活動ハンドブック(キャリアガイダンスやキャリアセンターで配付)を確認してください。

第2回 キャリアガイダンスに 参加しよう

第2回キャリアガイダンスは、採用担当者に響くエントリーシートの書き方と、夏季休暇のうちに各自で自己分析した内容をどのように文章に落とし込んでいくかをお伝えします。また、業界・企業・職種を幅広く見るコツを説明します。

西宮上ヶ原キャンパス

10月4日◎ 18:40～20:10

10月5日◎ 15:20～16:50、17:10～18:40

※いずれも文系対象、会場は中央講堂

神戸三田キャンパス

10月5日◎ 16:55～18:25 理工系対象 IV号館401教室

10月6日◎ 18:35～20:05 文系対象 VI号館101教室

3年生&M1年生は 有意義な夏を過ごそう

3年生とM1年生は、まだ時間に余裕のある夏の過ごし方が今後の就職活動に大きく影響します。キャリアセンターで実施している3年生、M1年生向けのプログラムやサポートを活用し、計画的に準備を進めていきましょう。詳細は「KGキャリアナビ」を確認してください。

傷ついた子どもたちを支援 ドイツ国際平和村でボランティア

川東 真歩さん

社会学部4年生



2

015年9月から約半年間、ドイツオーバーハウゼン市にある「ドイツ国際平和村」で、アフガニスタンやアフガンなどの紛争地や貧困地で傷つ

いた子どもたちを支援するボランティアに参加した。平和村は、致命的なけがを負っても母国で治療を受けられない子どもたちを医療援助する機関で、手術後から帰国までの間、リハビリしながら共同生活を送る施設だ。

検温、検尿、血圧測定などとともに起床から就寝まで食べたり遊んだり、子どもたちの生活にずっと付き添った。活動を終えて、「平和について自分なりの答えが見つかったような気がします」と笑顔で語る。参加前には「戦争はよくないと分かっていても、平和とは何かと問わ

れると答えはなかった。そもそも医療援助する機関で平和構築に寄与できるのか」と不安だった。それでも「平和について考えたい」と挑戦。その結果、けががある程度治って帰国していく子どもたちが語る「国に帰ったら勉強してお医者さんになる」という言葉に「平和」を見たという。戦争しか知らなかった子どもが、「ナイフは人を傷つけるものではなく、メスとして人を治療するもの」と分かったから

こそその言葉だった。

関西学院大学でしかできないことに挑戦したいと考え、参加した国際ボランティア。「これからは自分の経験を学生や高校生に発信していきたい。また、社会人になっても常に高い目標を持ち、それにアプローチしたい」と今後を見据えている。

プロジェクトの技法に 鏡を組み合わせた映像で優秀賞

プ

ロジェクターのような機器で映像を映し出すプロジェクトという技法を使った作品で、NHK Eテレの番組「テクネ」映像の教室」主催のコンテストで優秀賞を受賞した。「テクネ」という番組タイトルを、鏡を組み合わせて光をリレーさせるような15秒の映像に作り上げた。

作品名は「伝言ゲーム」。投影された「テクネ」というロゴが、鏡の反射を利用して次々と空間を移動していくように、まさに伝言ゲームのように見える。さらにロゴの色も、カラーフィルムを使って変化させており、見る側をウキウキさせてくれるような作品に仕上がっている。そうしたアイデアが

評価された。

「プロジェクトの技法に鏡を組み合わせたら、これまでにないものができる」と考えた。装置もそのためのものを用意するのではなく、身近なもので代用して遊び心を表現した」と語る。

ふだんは、アカデミックコンベンション「プロジェクト」SHADECOR(シェイドコ)のメンバーとして、建物に映像を映し出すプロジェクト「マッピング」などの制作に取り組んでいる。小さいころから、ものを作るのが大好きとい「ものづくりを通して人に影響を与えたい」と夢。作品を見た人が私と同じように楽しい気持ちになてくれたらうれしい」と笑顔を見せる。

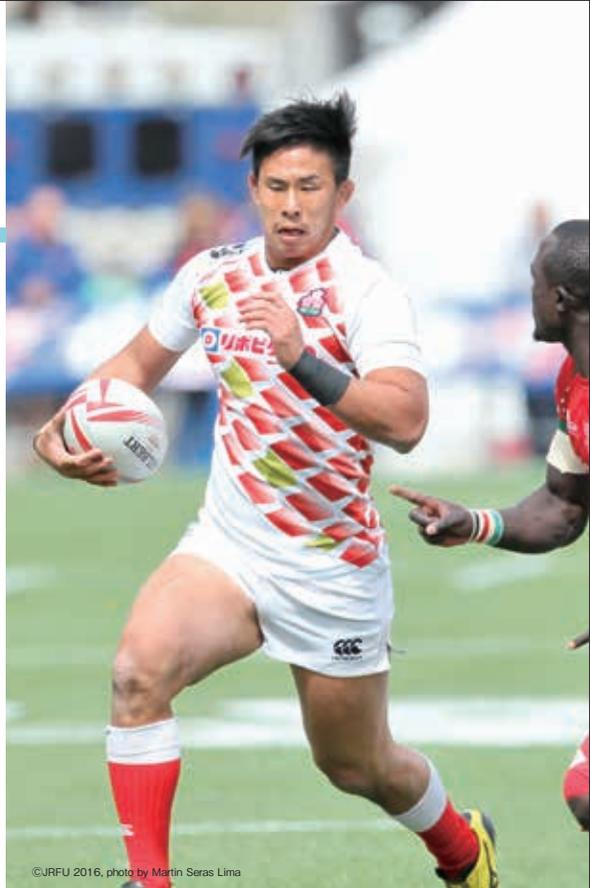
上田 明里さん

理工学部3年生



勉強に、スポーツに、趣味に一。
さまざまな分野で一生懸命に頑張るKGビープル。
きらきらと輝く横顔を紹介する。

闘志あふれるラグビーで リオ五輪7人制代表を目指す



徳永 祥亮 よしたか
さん

2015年商学部卒
東芝ラグビー部

8月に開催されるリオデジャネイロ五輪。今回から導入された新競技の一つ、7人制ラグビーの男子日本代表候補に選ばれている。「7人制は初めてで戸惑いもありましたが、精いっぱいやってオリンピックのメンバーに入りたい」と意気込む。

父親と宝塚市にあるラグビースクールを見に行ったことをきっかけに、小学1年生の時にラグビーを始めた。「初めは日曜に練習があるのが嫌だった」と語るが、徐々に力をつけ、中学では兵庫県のスクール選抜の一員に選ばれた。推薦を受けて関西学院高等学校に入学。1年生からレギュラーとなり、U17日本代表に選ばれたほか、全国高校大会でベスト4を経験した。大学でもU20日本代表、ジュ

ニアジャパン強化選手に選ばれ、卒業後は東芝でプレーしている。学生時代を「良いチームメイトに恵まれた」と振り返る。五輪の7人制は、試合時間が前後半各7分と15人制に比べて短い。競技するフィールドは同じ広さだ。代表候補が集まる今回の合宿の招集には、「競技そのものが違う。15人制と同じフィールドなので、運動量が増え、体重も落ちやすい。15人制でのプレーに影響する可能性があり、正直迷った」と打ち明ける。しかし、同期や周りの人に相談し、背中を押されて参加を決めた。

185センチ、100キロの大きな体を生かしたコンタクトプレーが持ち味。闘志あふれるプレーがリオの舞台で見られるかもしれない。

ひと人ひと

入社1年目でインド赴任 家電製品を広め現地の生活を豊かに

今

年4月にパナソニック株式会社

に入社した。来年の1月から

パナソニックでは史上最年少となる海外出向、インドへの赴任が決まっている。

「自分ができることで世界の役に立ちたい」という思いから、途上国支援や開発経済に興味を持つようになり、3年生の時に参加した国連ユースボランティアでルワンダ共和国を訪れた。現地に家電製品は普及しておらず、それは、住んでいた家でも同じだった。当時お世話になっていた家政婦さんを見ながら、「もし家電製品が普及していれば、家事はスムーズになり、この人は子どものためにより多くの時間を割いたり、他の仕事に就いたりできたかもしれない」と感じた。そのことをきっかけに「家電製品が持つ

可能性を考えるようになった」と言う。帰国後、就職活動をする時決めた時も根底にあったのは「世界の役に立ちたい」という思いだった。はつきりとどこかで働きたいと決めていたわけではないが、軸を持って就職活動に臨み、「自分が挑戦したいこと、そして会社が挑戦しようとしていることが一致していると感じた」と、パナソニックに入社することを決めた。

今後については、「まずは担当地域でパナソニックの製品を広めることからその地域の生活をより豊かにしたい。そして、さらなる課題を見つけて新しいことに挑戦していきたい」と話す。世界の役に立ちたいという思いを胸に挑戦が始まった。

小川 凌平 あやひら
さん

2016年総合政策学部卒
パナソニック株式会社





教育学部
菅原伸康ゼミ

体験を通して障がいを理解しながら 効果的な学習方法を探る

障

がいのある子どもたちにとって効果的な学習方法とはどのようなものか、教える立場としてはどのような教育的アプローチが必要なのか。特別支援教育における「知的障がい」「重複障がい」「学習障がい」をテーマに、教材や支援機器の開発、制作に取り組みながら、そんな課題を探る研究を進めています。

障がいのある子どもは一般的に、黒板の文字や図を見ながら紙上の問題を解くのが苦手で、教える際にはブロックなどの教材を使い、手を動かしながら学習を進めることが大切です。このようなことも含め、学生たちには障がいとはどのようなものかを理解しながら、学習の進め方を学んでもらっています。



菅原伸康 教授

「え子が教職などに就いてからの3年間は、彼らの授業を見に行くようにしており、気づいたことがあればアドバイスしています。教える際には強調するのは「易しい言葉で深い思想を伝える」ということ。実際に教師になったとき、難しい言葉で伝えるのではなく、誰もが分かる言葉で物事の深い部分を伝えてほしい。そんな願いを込めています。」

「え子が教職などに就いてからの3年間は、彼らの授業を見に行くようにしており、気づいたことがあればアドバイスしています。教える際には強調するのは「易しい言葉で深い思想を伝える」ということ。実際に教師になったとき、難しい言葉で伝えるのではなく、誰もが分かる言葉で物事の深い部分を伝えてほしい。そんな願いを込めています。」

障がいのある子の教材や教育支援機器を研究



井上 寧々さん
教育学部3年生

障がいのある子が「ことば文字、数」を学ぶための学習教材や教育支援機器について研究しています。

1、2年生の時に行った小学校での教育実習で、障がいのある子どもとどのように接すればいいのか分からず、特別支援教育を研究されている菅原先生に相談に行きました。「その子は何をしている時が楽しそうだったか」と聞かれ、答えることができました。情けなくなりました。特別支援教育について学びたいと思ったのはそれがきっかけで、菅原ゼミに入ること決めました。先生から「障がいはその人自身にあるのではなく、二者間の関係がうまくいかないことにあるんだよ」と教わり、障がいについての考え方が変わりました。

今後は、現在研究している学習教材や教育支援機器を使って、障がいのある子どもとどのように接し、学習を進めていくべきかを学んでいきたいと思っています。



理工学部生命医化学
藤博幸研究室

タンパク質やDNAの進化をたどって その機能や構造を探る

専

門分野はバイオインフォマティクスと分子進化です。私たちの体を構成しているタンパク質や遺伝情報の実体であるDNAなどの生体高分子の構造や機能を調べるための研究を行っています。しかし、試験管を使った実験ではなく、コンピュータを使ったデータ解析により研究を行います。

門分野はバイオインフォマティクスと分子進化です。私たちの体を構成しているタンパク質や遺伝情報の実体であるDNAなどの生体高分子の構造や機能を調べるための研究を行っています。しかし、試験管を使った実験ではなく、コンピュータを使ったデータ解析により研究を行います。

タンパク質は20種類のアミノ酸がひも状につながってできた分子で、DNAは4種類の塩基がつながってできた分子です。タンパク質もDNAも言い換

えるとアルファベットから組み立てられた文字の列と見なすことができます。これらの文字をいろいろな生物で比べることで、生物の進化の歴史をたどれると同時に、生体高分子の機能や構造の情報が得られます。このような研究は基礎研究としてだけでなく、医薬などの応用研究にも役立てることが

私ができる。私は昨年4月、関西学院大学に着任しました。理工学部の学生たちは非常にまじめで熱心に研究に取り組んでいます。研究室配属までは学んだことなかった計算によるアプローチを、苦労しながらも真摯に勉強している姿からは、逆に私自身が学ぶところも多いです。



藤 博幸 教授

全ゲノム重複によるコピー遺伝子を解析する



梶山 兵庫さん
理工学研究科M1年生

私はゲノムを調べています。ゲノムとはDNAの遺伝情報のことを指します。脊椎動物成体の過程で、ゲノム全体が一度倍化したと考えられており、この現象を「全ゲノム重複」といいます。私はゲノム中ほどの遺伝子の空間的な近接性の情報を利用して、遺伝子の近接性が全ゲノム重複の過程で保存しているかをコンピュータを使って調べています。ゲノムのデータは膨大なので解析には時間を要しますが、進化の新たな画像が得られると期待しています。

藤先生は自然科学分野だけではなく、あらゆる分野の知識に長けており、多角的に多くを学ぶことができるため、人間として成長することができそうです。藤研究室ではコンピュータを使用することが必須です。コンピュータが得意な人はもちろんですが、得意でなくても試行錯誤しながら楽しく取り組むことができる人にはお薦めです。

突撃! KG CLUB by KGB



このコーナーでは、KGB総部放送局が記事と映像で、部活動に励む関学生のイキイキとした姿をお届けします!



取材レポート

関学交響楽団に直撃! 部長インタビューや練習風景などを通じて交響楽団の魅力に迫りました。ぜひご覧ください。

動画をCHECK!

↓映像はこちらから



関西学院交響楽団

1913年に創部され、長い歴史を持つ関西学院交響楽団。毎年多くの部員が入部し、今年は1年生を含めて103人で活動しています。年に2回行われる定期演奏会では交響曲を含む本格的なクラシックのプログラムを演奏し、プロの指揮者を招くこともあります。新月祭クラシックコンサートや、全国各地で行う演奏旅行など、学内外で年間を通して精力的な活動を続けています。

オーケストラの魅力

全部で14の楽器がハーモニーを奏で、一つの曲を作り上げます。多様な楽器と演奏者の多様な考えをまとめるにはチームワークが必要不可欠です。





指揮者 金田 京美さん (商学部4年生)

Q.指揮者の役割とは?

各楽器のパートを一つにまとめることです。どの楽器がどんな音を奏でているかを把握するために、練習時間と同じかそれ以上の時間を「譜読み」にかけています。

Q.工夫していることは?

「言葉で人を巻き込む」ことを心がけています。抽象的な言葉ではなく、具体的な言葉でイメージを伝えることによって演奏が劇的に変わることがあるからです。なので、どちらかと言えば「喜び」などの経験の生かせるイメージの曲の方がやりやすいと感じます。

Q.やりがいを感じるのとは?

いろいろな評価はまず指揮者が受けることになるので、楽しさや達成感を一番にみんなと共有できることです。



練習日

水曜・金曜17時
～20時、土曜
13時～17時

活動場所

新学生会館3階



コンサートミストレス 金子ことみさん (経済学部4年生)

Q.コンミスの役割とは?

演奏者のトップとして、指揮者からの指示をまとめて全体に指示します。また、スコアを見て全ての楽器の演奏を把握し、各楽器の音の出だしや切る位置のタイミングを合わせます。

Q.タイミングの合わせ方は?

演奏中は声を出せないで、アイコンタクトやブレス、体の動きを合わせる事が重要です。

Q.やりがいを感じるのとは?

オーケストラ全体の楽器の音が響き合っているのを感じる時です。



KGB総部放送局

関西学院大学で唯一の放送団体。アナウンス、ドラマ、技術、制作、報道の5パートに分かれ、昼休みの放送、番組制作、イベント音響などさまざまな活動を行っています！興味のある人はTwitter、ホームページをご覧ください！

HP→<http://www.everyday-kgb.com>
Facebook→<https://m.facebook.com/KGBbroadcast>
Twitter→<https://twitter.com/KGBbroadcast>

受け身の自分を変え るために 発展途上国で ボランティア活動

関西学院大学の留学プログラムの一つである国際社会貢献活動に参加し、昨年4月から約5か月間、マレーシアのサラワク観光局でボランティアスタッフとして活動しました。小さいころから何に対しても受け身だった私は、「自分を変えたい」という思いから、発展途上国に1人で派遣され、仕事をするという厳しい環境に身を置くことができるこのプログラムへの参加を決めました。

現地では、8月にサラワク州の州都クチンで開かれた音楽イベント「Rainforest World Music Festival(RWMF)」のスタッフとして活動しました。RWMFは、約20年間続いている巨大音楽イベントで、昨年は、海外はカナダ、台湾、スウェーデンなど10カ国以上から17組、マレーシア国内から7組の計24組の音楽バンドが招待されました。



↑派遣先のスタッフと(前列右が山本さん)

4月からの準備期間には、イベントに来る全ての海外バンドメンバーの飛行機や滞在先の手配を行いました。8月のイベント中には、さまざまな事態に対応しなければならない受け付け業務を担当しました。立場上「分からない」と言えない状況の中で、不測の事態に対応せねばならず、臨機応変に判断して動くことの難しさと大切さを痛感しました。

イベントは10数年ぶりに入場者数が増え、1万8,000人(前年比約4,000人増)が集まり、成功に終わりました。現地のスタッフからは、私の丁寧で積極的な仕事への姿勢を高く評価していただきました。自ら動くことが苦手だった私ですが、今は、就職活動と同時進行で別の海外ボランティアへ参加することも考えています。今回の経験を生かして、今後も何事にも積極的に取り組みたいと思っています。

国際社会貢献活動
山本 春さん(国際学部4年生)
派遣国 ▼ マレーシア



アルフォンソ エーベル アレクサンダー
Alfonso Abel Alexander さん
(メリーランド大学 交換留学生)
米国出身



多様な学生の中で 文化や方言の 違いに触れ学ぶ

↓大阪にある居酒屋「怪獣劇場」で



— 関西学院大学に 留学を決めた理由は。

小さいころから日本の映画やアニメが好きで、その中でも、ゴジラの映画を気に入っていました。キングコングなどアメリカにも怪獣映画はありますが、その内容や構成が異なることから日本の映画について興味を持ち、学びたいと思うようになりました。アメリカでは日本語と映画研究の2つを専攻しています。日本の映画について学ぶには、日本の文化と言語を学ぶ必要があると思い、日本に留学しよう決めました。日本の文化の中では特に、関西の文化に興味があったので、立地的にも条件の良い関西への留学を決めました。

— 大学生活はどうですか。

とても楽しんでいます。学内の人の多様性には驚きました。アメリカやヨーロッパ、アジアやアフリカなど、世界各国から留学生が来ています。皆、さまざまなバックグラウンドを持ち、多くの人が複数の言語を話します。日本の学生もさまざまな地域から来ているので、各地方の方言や文化の違いに触れることができて面白いです。授業では日本語の基礎や音などを学ぶ授業を取って日本語を学び、「関西人」の学生からは関西弁や関西の文化を教えてもらっています。

— 今後の目標を聞かせてください。

海外の若者が日本の国内各地で地域の国際化に貢献することを目的とした研修があることを、出身校であるメリーランド大学の掲示板で知りました。それは、学校や地方自治体で国際交流業務や外国語教育に携わるJETプログラムです。関西の文化と方言が好きなので、関西でそのプログラムに参加して活動したいと思っています。すでに多くの友達ができましたが、留学生と日本人学生の友達をもっとつくりたいし、キャンパスや地域でのボランティア活動にも参加し

たいと思っています。

— お国自慢をどうぞ。

アメリカの人は物事を前向きに考える人が多いです。多くの人が、努力を怠らなければ目標や夢はかなうと考えており、私もそう信じています。これは日本によく似ている点ですが、皆、どのような状況でも最善を尽くそうとします。たとえ不幸なことが起きても、互いに助け合ったり、ものを譲り合ったりします。私たちが前向きでいることで、私たちの姿を見ている次の世代にも良い影響を与えられると思います。

— 好きな日本語を教えてください。

「KAIJU(怪獣)」です。この言葉からは、カッコよさ、野性、想像力などさまざまなイメージが生まれます。日本の怪獣はアメリカの怪獣よりも創造的だと思いますし、何より、怪獣は、私が日本に興味を持つきっかけとなったものなので、強い思い出があります。



数字でみる 関学

今回は、今年、西宮上ヶ原キャンパスの総合体育館に新しく設置されたトレーニングセンターのトレーニング機器の数を調べました！

新トレーニングセンターの トレーニング機器数

機 器なども新しくなってさらに充実したトレーニングセンター。競技パフォーマンスの向上や運動不足の解消、勉強の気分転換などに訪れてみてはいかがでしょうか！



| | |
|--------------------|----------------|
| トレーニング用ベンチ台 | 23台 |
| トレーニング用架台 | 3台 |
| トレーニング用ステージ台 | 7台 |
| プレート | 約 550 枚 |
| プレートラック | 11台 |
| バー | 29本 |
| ダンベル | 約 120 個 |
| ダンベルラック | 9台 |
| トレーニングマシン(ワイヤー等使用) | 36台 |
| トレーニングマシン(電気使用) | 12台 |
| ジャンプボックス | 5 台 |
| マッサージ、テーピング台 | 6台 |
| ストレッチマット | 20枚 |

ラバーが巻かれ、より安全に、高負荷・高強度のトレーニングができるようになりました！

新しくなり、今人気の跳躍や踏み台昇降などのトレーニングがより行いやすくなりました！



※利用を希望する場合は、利用者講習会を受講する必要があります。問い合わせは、スポーツ・文化課へ。

関西学生ダートトライアルで自動車部が男女ともに優勝

「平成28年度第1回全関西学生ダートトライアル選手権大会」が5月1日、京都府コスモスパークで開催され、関西学院大学自動車部が男女ともに団体に優勝しました。



主将の山西一桂さん(経済学部3年生)は「2年生が日ごろの整備活動から頑張りが、大会当日も良い成績を残してくれました。2年生の期待以

上の活躍が関西制覇につながったと思います。次戦も一致団結して優勝を目指します」と話しました。

陸上競技部が関西インカレで6年連続14回目の総合優勝



「第93回関西学生陸上競技対校選手権大会」が4月20日と5月12日から15日まで、大阪府ヤンマースタジアム長居・ヤンマーフィールド長居で開催され、関西学院大学陸上競技部が14回目の総合優勝を果たしました。

全23種目中4種目で優勝、18種目で入賞し、最終スコアは3年ぶりに総合200点台を

記録するなど、圧倒的な強さで創部初の6連覇を達成しました。

男子100m決勝で多田修平さん(法学部2年生)が10秒33の大会新記録で優勝、男子十種競技1500mでは主将の司剛久さん(商学部4年生)が日本選手権A標準を記録など、自己ベストを更新して優勝する選手も多く、好記録尽くしの大会となりました。

シェイクスピア没後400年 作品劇「テンペスト」を上演

関西学院は5月20日、シェイクスピア没後400年企画として西宮上ヶ原キャンパスに英国の劇団インターナショナルシアターカンパニー・ロンドン(ITCL)を招き、シェイクスピア最後の作品劇「テンペスト(嵐)」を上演しました。



中央講堂には約700人の中学生、高校生、大学生、一

般の方が集まり、公演とトークセッションを楽しみました。

中後大輔・理工学部准教授らが国際会議でBest Paper Award受賞

4月22日から24日までニュージーランド・オークランドで開催された国際会議「2016 IEEE 14th International Workshop on Advanced Motion Control」で、中後大輔・理工学部人間システム工学科准教授らがBest Paper Awardを受賞しました。

優秀な論文に贈られる賞です。中後准教授は「今まで成してきた研究を認めていただいたことをうれしく思うとともに、本研究に協力してくださっている多くの方々に感謝いたします。今後も世の中に貢献できる研究に励んでいきたいと思いを」と喜びを語りました。

同会議は米国電気学会が主催。先進的な動作制御に関する研究を発表する国際会議で、特にロボットの動作計画や制御手法の分野を専門とし、隔年で開催されます。

Best Paper Awardは、同会議で発表された98本の論文の中で最も



LinkedIn

LinkedIn(リンクドイン)は、3億人以上のビジネスプロフェッショナルが利用している世界最大級のビジネス特化型SNS。世界200以上の国や地域で利用されています。多くの利用者がビジネスパーソンとして、仕事のスキルや経験をプロフィールに記載し、公的な自己紹介ツールやビジネスの機会創出のために活用しています。

関西学院大学のページでは、学生の活躍、研究成果、イベントなどの情報を英語で発信しています。またLinkedInの特性でもある卒業生のチェックを行えば、居住地、勤務先、スキルなどの条件から卒業生を検索し、つながりを作ることができます。

こんな人におすすめ

- ① ビジネスに興味がある
- ② 就職活動で志望する企業で働く卒業生を探している
- ③ 同級生、先輩、後輩を探している
- ④ 留学生や過去に留学していた外国人とつながりたい





熊本地震の現地報告会で 教職員が被災状況や課題を報告

学生に対してボランティア活動のサポート等をするために本年度から活動を始めた関西学院大学の「ボランティア活動支援センター ヒューマンサービス支援室」が5月20日、熊本地震の現地報告会を約140人の学生を前に実施しました。

報告したのは、ボランティアコーディネーターの成安有希さん。4月末から5月上旬に現地入り、被害の大きい熊本県益城町をはじめ、西原村や熊本市内の様子、避難所の現状などを視察しました。

成安さんは、地震の被害や現地の様子を図や写真で解説。倒壊した家屋やひびの入った道路など、実際に見た光景を伝



えました。「私は『ボランティアは人との出会いの入り口』という言葉が好きです。ボランティアと聞くと高いハードルをイメージする人もいますが、決してそうではありません。ボランティアすることで多くの出会いがあり、学ぶことは数えきれません。多くの学生さんが、やってみてイメージと違ったと満足してくれています。興味があれば、ぜひ最初の一步を踏み出してください」などとメッセージを送りました。

国際社会で活躍する人材の育成を 国連開発計画と包括協定を締結

関西学院大学は5月24日、ステーションコンファレンス東京（東京都千代田区）で、国連開発計画（UNDP）（駐日代表：近藤哲生氏）と包括協定を締結しました。このような協定締結は国内の大学で5例目、関西の私立大学では初となります。

本協定は、“Mastery for Service（奉仕のための練達）”をスクールモットーとする関西学院大学と、約170カ国にネットワークを持ち開発を通してよりよい世界を構築するための支援を行っているUNDPが、相互に連携しながら国際社会で活躍できる人材育成に貢献することを目的とします。

本協定の締結により、UNDP駐日代表事務所やその他関連事務所における学生のインターンシップ、講演、セミナー、イベント、共同研究、人の交流、情報資料の相互提

国連開発計画・関西学院大学 包括協定調印



供などを実施していく予定です。

調印式で村田治・学長は、「これまで関西学院大学は国連ユースボランティアに83人の学生を送り出してきました。今後もUNDPと協力し、大きな志を持った国連職員や国際公共団体の職員を輩出できるようにしたいです」などと話しました。

近藤・駐日代表は「インターンシップなどを通じ、学生が国連と接する機会や現場で業務を体験する機会を提供していくことで、国連職員を志す学生が増えることを期待したいです」と話しました。

誰もが生きやすいキャンパスに 関学レインボーウィークを実施

関西学院大学は5月16日、西宮上ヶ原キャンパスで、性的少数者をはじめ多様性を認める環境をつくることを目的にした「関学レインボーウィーク」のオープニングイベントを実施しました。

4回目となる今年のテーマは「みんなが気づけば、関学も変わる!」。西宮上ヶ原キャンパスと西宮聖和キャンパスで5月16日から20日まで、神戸三田キャンパスで5月23日から27日まで開催しました。

オープニングイベントでは、村田治・学長が「4回目の関学レインボーウィークが、誰も



が生活しやすい関学になる大きな一歩になればと思います。多様性について理解を深め、このウィークを楽しんでいきましょう」などと宣言しました。その後、関西学院グリークラブとアカペラサークル・クレセントパーティーの学生有志によるライブなどがあり、会場は盛り上がりました。

日本の国連加盟60周年を記念し 国連に関わった教授陣でシンポジウム

関西学院大学は5月18日、西宮上ヶ原キャンパスの関西学院会館で、日本の国連加盟60周年記念シンポジウム「リーダーなき世界における国連と日本の役割」を開催しました。

第一部の基調講演では、明石康・SGU招聘客員教授（元国連事務次長）が「世界情勢の変遷と私の国連観：日本の若者へのメッセージ」をテーマに話しました。

第2部ではトークセッションを実施。村田俊一・総合政策学部教授（前国連アジア太平洋経済社会委員会事務局次長）を進行役に、明石教授、神余隆博・副学長（元国連日本政府代表部大使）、元在ドイツ大使）、久木田純・SGU招聘客員教授（前国連児童基金駐カザフスタン事務所代表）、和気邦夫・総合政策学部客員教授（元国連人口基金事務局次長、元国連事



務次長補）、西野桂子・総合政策学部教授（元国連児童基金人事担当）、大崎麻子・総合政策学部客員教授（元国連開発計画開発政策局担当）が登壇し、それぞれの専門領域、国連での経験、国連や国際社会における日本の役割、人権やジェンダーなど国際的な課題、国連で求められる能力などについて述べました。終盤には、ミッションをまっとうできる情熱や他尊心の形成、常に考え続けることの重要性などが挙げられ、「世界のために、若者には積極的に海外に羽ばたいてほしい」などとメッセージが送られました。



法学部と経済学部連携コースに 尼崎・西宮両市長が相次いで登壇

法学部と経済学部連携コースの授業「地域政策入門A」は、近隣の首長をゲストスピーカーに、西宮上ヶ原キャンパスで開催されています。

5月27日には、稲村和美・尼崎市長が登壇。少子高齢化といった社会が抱える課題に対して、転換期である今の取り組みが重要であると解説。「課題解決先進都市」を掲げる同市の政策を紹介しました。

6月3日には今村岳司・西宮市長が、政策を考える上で現時点的解釈の重要性に触れながら、「サードプレイスの充実と魅力の発信」や「子どもを主

役とするまちづくり」などの取り組みについて説明しました。



「ハンズオン・ラーニング」の 科目充実に向けた取り組み

関西学院大学では「ハンズオン・ラーニング」※1 関連の科目が秋学期より新たに開講されます。

村尾信尚教授のPBL特別演習001「福島から原発を考える」は、東日本大震災で起こった福島原発事故の実態を現地実習で深く学ぶとともに、電力エネルギー政策の専門家によるレクチャーやグループワークを通じて、原発問題やエネルギー問題について多面的に調査・検討し、政策提言を発表します。

木本浩一教授の社会探究実

習「広島・江田島平和フィールドワーク」は、「ヒロシマ」に近い呉や江田島で原爆を経験した人たちの戦後に迫ることによって、「平和」について考えます。また、同教授による「瀬戸内海・豊島環境フィールドワーク」では、瀬戸内海の豊島でのフィールドワークを通じて、瀬戸内海の環境に関わる問題、島の中で育まれてきた歴史や文化を探究します。

※1キャンパスを出て、実社会を学ぶことを内容とする実践的・体験的な学習のことを指します。

関西学院教育振興会 募金協力をお願い

W・R・ランパスが1889年に創立した関西学院は現在、7つのキャンパスに幼稚園から大学院までを擁し、2万7,000人を超える学生、生徒が在籍しています。

関西学院の教育と研究が長きにわたって発展し続ける原動力となったのは、関西学院教育振興会を通じた皆様からのご寄付です。これまでの温かいお力添えに心から感謝いたしますとともに、本年度も一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

2015年度募金状況

2015年度も下表のように多くの皆様からご寄付を頂戴いたしました。ここに深く感謝の意を表します。

関西学院教育振興会会長
関西学院理事長
宮原 明

関西学院教育振興会会長
関西学院理事長

宮原 明

関西学院院長

田淵 結

関西学院副理事長
関西学院大学学長

村田 治

聖和短期大学学長

千葉 武夫

関西学院高等部長

枝川 豊

関西学院中学部長

安田 栄三

関西学院初等部校長

田近 敏之

| | 件数 | 金額(円) |
|-----|-------|-------------|
| 個人 | 2,612 | 301,698,050 |
| 法人 | 57 | 37,191,147 |
| 団体 | 135 | 222,474,014 |
| 総合計 | 2,804 | 561,363,211 |

◎募金お問い合わせ／関西学院法人部校友課 ☎0798-54-6010

関学カプセル...30



一方、水面ではさまざまな種類の野鳥が羽を休めている様子を見ることが出来る。在学生や近隣住民たちの人気者、カルガモの親子が仲良く泳いでいる姿は初夏の風物詩となっている。

現在の新月池は水面積約2千平方メートル。沼えびや亀など多様な生物が生息している。池岸にはハスやスイレンなどの植物が自生し、周辺にはキャンパスの景観を損なわないように選定された桜、フゲンソウなどの木々が植えられており、季節ごとに美しい花を咲かせて訪れる人の目を楽しませてくれる。

新月池

「カルガモの親子は
初夏の風物詩」

西宮上ヶ原キャンパスにはかつて、新月池のほかに新図書館と第5別館の間に一つ、総合体育館の付近に一つ、大きな農業用の水池があった。しかし現存しているのは本部棟、大学院1号館に囲まれている新月池、同じく農業用の水池でもある日本庭園池泉のみだ。

学院通信

関西学院千里国際中等部、高等部、大阪インターナショナルスクール(SOIS)は6月6日から17日まで、千里国際キャンパスでアートショーを開催しました。

今年のアートショーのテーマである「記憶」をモチーフにした作品と、1年間を通して作成された作品がキャンパス内の至る所に展示されました。一つひとつの作品から生徒の感性や芸術性が感じられ、保護者をはじめ来場者は興味深く、作品に触れていました。

6月6日のオープニングセレモニーでは、生徒によるジャズバンドとコーラスの生演奏を実施。努力の成果が伝わってくる演奏に、会場は大きな拍手に包まれました。

『The other side of the story』を作成し、Best Risk-Taking賞を受賞した林萌さん(11年生)＝写真右＝は、「世界の貧富の差を表現しようと挑戦しました。大きなキャンパスで世界を、その隅にある野菜の模型で世界の限られた場所にしか存在しない資源や富を表しました。それらの対角線上にある赤と黒の模様は争いや貧困を表しています。作品を見た人が、自分が居る場所からは見えない世界を少しでも感じてくれればうれしいです」と作品に込めた思いを話しました。



【訂正】251号の掲載記事「東日本大震災から5年 発生時間に約60人が黙とう」で、ジェフリー・メンセンディーク・関西学院宗教センター宗教主事に関して、宮城県仙台市で「被災した」としていましたが、「住んでいた」の誤りでした。

千里国際キャンパスでアートショー
芸術性豊かな作品が集合

ウォルト・ディズニー・ジャパン社長が特別講演会に登壇



関西学院大学は6月3日、西宮上ヶ原キャンパスで特別講演会を実施し、ウォルト・ディズニー・ジャパン代表取締役社長のポール・キャンドランド氏が登壇しました。

講演会のテーマは、「ディズニーのビジネス戦略とグローバル時代に求められる人材とは」。ポール氏は登壇早々、学生らに向かってカメラを構え、「ハイ! ミッキー」というかけ声とともに写真を撮影。学生らは楽しそうに両手を頭につけてミッキーマウスのポーズをとり、開始から会場は笑顔に包まれました。

その後、映像やスライドを使用し、ウォルト・ディズニー・ジャパンが大切にしている考えや

ビジネス戦略を解説。世界を取り巻く環境の変化が年々早くなっていること、ビジネスに国境はないことなどに触れ、「常に変化があることは、とてもエキサイティング。変化を嫌がっていると成長はない。激動の時代だからこそ、楽しんでいくべき」などと話しました。

後半には会社が求める人材として、パッション、フレキシブル、アダプタビリティ、チャレンジ精神、英語の5つの項目を挙げました。「ディズニーでの仕事は毎日楽しい。みなさんも大きな夢を持ち、自信を持って歩んでください。そして周囲のプラスになることを行ってください」とメッセージを送りました。

読者アンケート&プレゼント

関学ジャーナルのアンケートにご協力ください。ご協力いただいた方の中から抽選で10名様に「関学オリジナルカラーマグカップ(ネイビー)」をプレゼントします。右記QRコードからアンケートにお答えください。締め切りは2016年9月16日(金)。当選は発送をもってかえさせていただきます。



パソコン URL ↓



<http://www.kwansei.ac.jp/r/kgjournal/>

関学ジャーナルへのご意見・ご感想はWEBでも受け付けています。▶関学ジャーナルご意見・ご感想フォーム URL→<http://www.kwansei.ac.jp/form/kgjm.html>

人工知能のAIがもたらす未来



私に
一言
わせて!



文学部教授
(こころの哲学、生命倫理、政治哲学)

浜野 研三

17世紀の哲学者ルネ・デカルトは、世界、そして人間が、物質と心というまったく異なる本性を持つ2種類のものからできていると考えました。しかし、自然科学の長足の進歩による世界像の変貌の過程で、心がものとして存在するという考えは大幅に力を失いました。しかし、このことは必ずしも、心が単なる想像力の産物にすぎないという結論を導く訳ではありません。

注目すべきなのは、心があるとわれわれに言いたくさせる、生きた人間の身体が多様な状況に応じて示す振る舞いのパターンの精妙さです。しかも、それらの精妙なパターンは、私、あなた、彼女等々のものとして一定の統合性を持った形で生み出されています。それらのパターンの多くは、感情や心情や情熱の自覚と表出を伴っています。これほど複雑で精妙な振る舞いのパターンを単なる物質の動きという視点のみから理解することは、生きた人間の身体、ひいてはその心的特性に関する十分な理解を妨げ、その価値を貶めることにつながりかねません。

私が強調したいのは、人間は、38億年の生命の進化の歴史を背負っているきわめて興味深く、また貴重な生き物であるということです。「心」やそれに関する言葉は、このような興味深く貴重な生き物の特性を表現し理解するのに非常に有益なものです。途方もない時間経過のうちに地球の生態系で生じた多くの変動の中で、生まれ、生き延び、そして多様な能力を身に付けた人類は、パスカルが「考える葦」と呼んだように、誇るべき性質と共に脆く壊れたり墮落したりする性質をも持った、複雑な生き物なのです。

技術には常に悪用の危険が伴います。大きな潜在能力を持つAIのような場合、興味深く貴重な生き物たる人間との共生を常に念頭に置きつつ、その可能性の一層の進展を図るべきでしょう。労働者が単にモノとして扱われ、人類にとって最大の危機である気候変動への対応が大幅に遅れ、核技術の制御がおぼつかないという現状を考えると、生命を育んだ自然への感謝と驚異、そしてそこに生きる生命、殊に生き物としての人間への愛情に満ちた眼差しを基盤としたAIの可能性の探求を望まざるを得ません。その実現のためには市民と専門家の協力による監視の目が不可欠でしょう。AIの成果の質は、われわれの民主主義の質と分かち難く結びついているのです。



理工学部教授
(システムプログラムの
開発とテスト、
VLSIの設計自動化)

石浦 菜岐佐

人工知能が囲碁で名人を破ったり、車の自動運転が実用化されたりと、最近の人工知能技術の発展には目覚ましいものがあります。しかし、この流れで「やがて人工知能が人類を超える」と言われても、なかなかピンと来ないのではないのでしょうか。

現在の人工知能は、米国の哲学者ジョン・サールの言う「弱い人工知能」であり、特定の問題を解くコンピュータプログラムの一方式に過ぎません。推論や学習によって従来よりも高度な計算や判断を行います。しかし、何かを「考える」知能ではありません。

自ら考える「強い人工知能」の実現には、今は全く異なる方式が必要で、また、単位体積あたりの計算能力も全然足りません。現在、脳全体を化学反応レベルでシミュレーションしたり、脳の計算機構を電子回路で実装したりといった研究が行われています。また、電子回路とは全く異なる新しい計算機構の研究も進められています。

数多くのブレークスルーを経て、いったん人類を超える知能が出現すると、その知能は自身で更に高い知能を開発するというプロセスの繰り返しにより、すぐに人類が草木や岩石のように見えるほどの「超知能」に成長します。それがもたらす想像を絶する技術革新は「技術的特異点」と呼ばれ、それ以降の地球上で何が起こるかは予測不能とされています。

まるでSFですが、米国の発明家レイ・カーツワイルは著書でこれが現実にならず30年後に起こると予測しており(大変真面目な技術予測です)、「2045年問題」として知られています。人類の知性による約200万年の地上支配があと30年で終わるとしたら、あまりに衝撃的です。

この問題は、知性とは何か、人間の存在意義は何か、人類は急激に発達する科学技術をどう扱うべきなのか、などさまざまなことについて深く考えさせてくれます。実際30年後には何も起きていないかも知れませんが、100年後だともわかりません。皆さんもこれを機会にこの問題について考えるとともに、少し心の準備を始めていただければと思います。

社会で話題になっているテーマに対して、教職員の考えを聞きました。



世界の街角から

Republic of India

ANAデリー支店
マーケティング・営業担当

松井 雪奈さん

(2010年総合政策学部卒)



ゼミで培った立案力を生かし 訪日旅行需要を喚起

私

の働くグルガオンという街は、首都デリーの南に位置し、高層ビルやメトロ建設が進む新興ビジネス地区です。そんな街を、ヒンズー教で神とされる牛が闊歩し、ローカルフード屋台がずらりと並ぶ様子は、何とも不思議

な光景です。

私は、成田ーデリー便を運航する航空会社のマーケティング・営業担当として、2013年から働いています。卒業後3年で今の仕事に転職した決断には、関西学院大での学びが大きく影響して

地マーケット調査、航空運賃の設定、法人営業、広告作成など多岐にわたります。その中の一つがインド人の訪日旅行喚起です。レジャー目的の旅先として日本の存在感はまだ薄く、課題は多く残されています。ゼミで養ったマーケティングと文化的背景を軸にした立案力が、今の仕事で生かされているように感じます。

います。総合政策学部・中野幸紀教授の下で国際ツーリズム政策を専攻し、観光とJNTO（日本政府観光局）を訪問。また観光立国フランスでもフィールドワークを実施し、世界遺産を活用した訪日政策と地域活性化を卒業論文のテーマとしました。

海外へ行くことが全ての人のとってベストとは思いません。今の環境で何ができるのか、何がしたいのかを自身で考える主体性がより重要だと思えます。その上で、海外へ足を運ぶことは、自分の可能性を広げることにつながるのではないのでしょうか。

そんな私の今の仕事は現



↓グルガオンの街並み

協定校紹介

Republic of India

ジャワハルラー・ネルー大学 Jawaharlal Nehru University

インド初代首相の名前を冠した国立大学院大学として、1969年、ニューデリーに設立されました。全寮制のこの大学では、学生の個性を尊重し、一人ひとりの才能と創造力を培うことを目的として学際的な学問の場が提供されています。さらに、国の統一性を守り、社会正義、世俗主義、民主主義の理念を確保し、国際理解を深め、社会問題に対して科学的に取り組む力と知恵を育むにふさわしい学問の機会が与えられています。

全部で10の大学院があり、複数のセンター（研究科）および4つの特別研究センターを構成しています。全国で同時に実施される入学試験の志願者倍率は約20倍で、各地方の優秀な学生が集まる一流の教育機関として知られています。

(ジャワハルラー・ネルー大学教授 P・A・ジョージ)





大学図書館ホームページでは、WEBデータベースや図書館活用術など、幅広い情報を分かりやすく紹介しています。教職員の新刊情報も随時更新。「関西学院大学図書館」で検索！

大学図書館の旬な情報をお届け

Libraring



「第17回J.C.C.Newton賞」作品募集！

J.C.C.Newton賞は、大学図書館の理念「知的交流・創造の場としての大学図書館」に基づく広報活動の取り組みの一つとして2000年度に創設され、初代図書館長であるJ.C.C.Newtonにちなんで名づけられました。

第17回のテーマは「水(みず・すい)」。「水を得た魚」「背水の陣」「水入らず」「我田引水」など、「水」から連想される題材を自由に選び、新鮮な感覚にあふれ、既成概念にとらわれない作品を募集します。応募期間は2016年9月26日(月)～11月4日(金)です。

詳しくは、大学図書館ホームページ(<http://library.kwansei.ac.jp/about/activity>)をご覧ください。



教職員の新刊

現代文化とキリスト教

関西学院大学キリスト教と文化研究センター編
キリスト新聞社

TOEIC®テスト UPDATES即効完全対策!

塚田幸光法学部教授著
宝島社

変容する地球社会と平和への課題

望月康憲法学部教授共同執筆
中央大学出版部

記憶の政治

ヨーロッパの歴史認識紛争
橋本伸也文学部教授著
岩波書店

テマ反乱とビザンツ帝国

コンスタンティノープル政府と地方軍団
中谷功治文学部教授著
大阪大学出版会

「わたしのソーシャリズム」へ 20世紀イギリス文化とレイモンド・ウィリアムズ

大貫隆史商学部准教授著
研究社

救貧看護とフィラソピア

古代キリスト教におけるフィラソピア論の生成
土井健司神学部教授著
創文社

ストーリーで学ぶ開発経済学

途上国の暮らしを考える
栗田匡相経済学部准教授共著
有斐閣

行政法理論の探究

芝池義一先生古稀記念
曾和俊文司法研究科教授・前田雅子法学部教授共編
有斐閣

新しい教職概論

教師と子どもの社会
南本長穂教職教育研究センター教授編著
ミネルヴァ書房

「国家を超える」とは

民族・ジェンダー・宗教
Eun Ja Lee国際学部教授共編著
新幹社

災害ボランティアハンドブック

関西学院大学災害復興制度研究所編
関西学院大学出版会

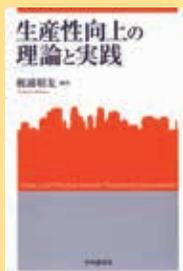
緊急事態条項の何が問題か

関西学院大学災害復興制度研究所編
岩波書店

災害対応ハンドブック

野呂雅之災害復興制度研究所教授共編著
法律文化社

生産性向上の理論と実践



梶浦昭友・商学部教授編著 240ページ 中央経済社

アベノミクスの第3の矢である「日本再興戦略」では生産性革命が掲げられていますが、生産性は時として多様で曖昧なまま取り扱われます。本書では、生産性を概念等の究明にとどまらず、特にその向上という観点から掘り下げます。研究者と実務家が、相互に協力して生産性向上のための理論的課題の考察とともに、企業および組織における現実の取り組みの一端を、理論と実践の両面から複合的に取り上げます。



医療宣教 二重の任務

本書は、関西学院の創立者W・R・ランバス宣教師の著書の一つであり、学院創立125周年記念事業の一環として出版されました。ランバス宣教師の中国における長年の宣教活動、さらに後年のアフリカ・コンゴにおける活動の中心は、医療宣教の活動でした。医療宣教における二重の任務とは、第一に病で苦しむ者に仕えて医療の専門家として病の治療に専念することであり、そして第二にキリストの福音を提示するという、二つの任務に他なりません。



神田健次・神学部教授監修 296ページ 関西学院大学出版会



…なぜなら、
わたしは弱いときにこそ強いからである

コリントの信徒への手紙二 12章10節

マルコ福音書のイエスの受難場面を読むと、イエスの弱さが目を引きます。イエスは前の晩「この杯を取りのけてください」ともだえるように祈ります。また十字架上でも「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになつたのですか」と叫びます。福音書の描くイエスの死は決して英雄的なものではありません。

パウロは手紙の中で、このイエスの弱さを強調します。十字架でイエスが苦しむ時、神はともに痛み、苦しみます。しかし、イエスとともに痛まれた神は、イエスをよみがえらしました。ですからパウロの言葉「弱いときに強い」とは、私たちが自分では立ち上がれないほど痛み苦しんでいる時にこそ、神は私たちのすぐそばにいて、ともに痛まれるということを意味しています。そして、その神に自分を委ねた時、神はその力を発揮して、私たちが再び立ち上がれるようにしてくださるのです。

人が「弱いとき」とは、尊厳やプライドが誰かに踏みじられ、最低限の生きる権利を奪われている状態です。キリスト教主義大学の中で置かれた人々から学び、その人たちの解放に資する学問を構築することではないでしょうか。

編集後記

理工学部の座談会取材をする身でありながら、学ぶことがたくさんあった。私は理系には詳しくないが、分野が違っても成長していくのに必要なことは同じだなとあらためて感じた。学生たちはこれからも素晴らしい環境の中でさまざまな経験をjして、多くのことを吸収していくのだろう。(りよ)

ファン数大学日本一!
関西学院大学Facebook



いいね!



関西学院大学の身近なニュース、キャンパス風景、動画などを紹介。Facebook大学別ファン数ランキングで1位を獲得しています(facenaviより <http://facebook.boj.jp/facebook-university-ranking>)。今すぐ「いいね!」をしよう。

アカウント名 関西学院大学 / Kwansai Gakuin University

人と自然をつなぐ、伝統と革新をつなぐ。

かつて先人たちが理想を追い、
実現してきたデザインや技術は、
現代に伝統として受け継がれています。
竹中工務店は、その伝統を尊びながら、
常に新しい価値や試みを取り入れ、
革新的なデザインや技術を
創り出すことを目指しています。
人と自然が共に豊かになるには
どうしたらいいのか、
未来の環境をつくる使命を持って
新しい建築を世に送りだしていきたい。
そして、10年後、20年後、100年後、
その建物が「新しい伝統」になり、
未来の建築家たちの
礎になることを願っています。
「最良の作品を世に遺し、
社会に貢献する」
竹中工務店は、この経営理念のもと、
建築の可能性を追い求めていきます。

写真：竹中大道具館 設計施工：竹中工務店
兵庫県神戸市、六甲山の麓にある日本で唯一の
大道具の博物館。

想いをかたちに 未来へつなぐ

TAKENAKA